

キャンピング KYOTO

編集・発行 京都府キャンプ協会

〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 京都YMCA三条本館内

TEL: 075-255-4709 FAX: 075-255-2087

E-mail: kyoto@camping.or.jp URL <http://kyoto.camping.or.jp>

2017/11

Vol. 68

2017総会報告号

『2017年度 京都府キャンプ協会 総会』

2017年度京都府キャンプ協会総会は7月2日(日)13時00分～13時40分 京都YMCA三条本館にて開催しました。正会員11名の出席、委任状52名で成立し、すべての議案及び報告は承認されました。

第1号議案 2016年度事業報告

I. 会員数320名(2016年6月23日現在)

A キャンプ・インストラクター資格 208名

B キャンプ・ディレクター2級資格 52名

C キャンプ・ディレクター1級資格 45名

他 1名

II. 指導者資格認定事業

キャンプ・インストラクター資格 認定者数21名

申請者数21名

III. 指導者養成事業

前期キャンプ・インストラクター養成講習会

受講者:16名

日程:4月29日～5月1日

会場:京都YMCAリトリートセンター

後期キャンプ・インストラクター養成講習会

受講者:5名

日程:9月17日～19日

会場:京都YMCAリトリートセンター

IV. 主催事業(月例会)、受託事業(月例会兼)

10月(月例会兼受託事業)10月29日(土)

花背山の家「自然大好きフェスティバル」

会場:京都市野外活動施設「花背山の家」

内容:「勾玉作り」100セット準備 完売

担当:岡本副会長・竹川・吉田・森下・船越・岩西
各委員

参加者:一般61名

11月(月例会)11月27日(日)

「クリスマスクラフト」BUC認定事業

会場:京都YMCA]三条本館

内容:小枝等の自然物を使い、クリスマスにちなんだ
素敵なクラフトを製作。

参加費:1,000円(軽食を用意)

参加者:10名

担当者:船越委員

12月(月例会)12月11日(日)

「次のキャンプで必ず役立つキャンプソング塾」Part5

BUC認定事業

会場:京都YMCA三条本館

内容:好評のキャンプソング塾の続編。仲間や
キャンパーと口ずさみたくなるキャンプソング
の魅力に迫った。

参加費:1,000円(軽食を用意)

参加者:7名

担当者:塚原委員

1月(月例会)※参加申込みが1名のため実施せず。

「野外ゲームの達人になろう」BUC認定事業

会場:京都YMCA三条本館

内容:京都市野外活動施設「花背山の家」の指導主
事と小中野外教育研究会が著作した「野外ゲ
ームの達人」の本の中の野外ゲームを紹介。

参加費:1,500円

担当者:飯田委員

2月(月例会)※都合により中止。

「葉っぱのクラフト」Part3 BUC認定事業

会場:京都YMCA三条本館

内容:シュロの葉や、すすきの葉を使って「バッタ」
などの製作。

参加費:1,000円(軽食を用意)

担当者:塚原委員

3月(月例会)2017年3月6日(日) BUC認定事業

「災害時におけるキャンプの役割」

会場:京都YMCA三条本館

内容:「3.11」の「東日本大震災」に寄せて、例会は
災害時におけるペットボトルランタンと段ボー
ルパーティーと防災食品の試食。

参加費:1,000円

担当者:船越・飯田委員

参加者:10名

京都府キャンプ協会の

ホームページ

が新しくなりました



講習会開催のお知らせや報告など
どしどし掲載していきます。
ぜひご覧ください。

URL <http://kyoto.camping.or.jp>

秋晴れに恵まれた10月1日、宝ヶ池子どもの楽園から、徒歩7分、京都府警の平安騎馬隊がある北公園の憩いの森で、ネイチャークラフトの教室を開催しました。今まで、京都YMCAの三条本館で開催して参りましたが、やはりアウトドアでの開催がキャンプ協会ならではの在り方では…と思いながらも、なかなか好都合な場所も思いつかずに、集まりやすい場所としてYMCAに甘えて来たわけでございます。これではイケナイ…やはりキャンプならではのクラフト、それは自然の恵みを活かしながら自然の素材を工夫すること、シンプルにそこにあるものを発見することに楽しさがあるのですから。

参加いただいた皆さんは、会員が5名、小学生が2名、幼児さん1名の参加で、まずは塗料の乾く時間から考えてストーンペインティングの名札作りからスタート。見本を見ながら皆さんのオリジナルを作成。続いて小枝のブ

ローチ作り、小枝は参加者の皆さんに、その場で探してもらいました…最後は小枝のクリスマスリース作りで、簡易なロープワークも実践しました。予定していた小枝の一輪挿しまでは時間切れで作ることができませんでした。小枝の活用方としては、皆さんのこれからの活動の参考になったのでは、と思います。

これからもドングリや落ち葉も使ったクラフトもどんどん取り入れて行きたいと思っています。

報告 船越 義正



更には、日本キャンプ協会が提案していますブラッシュアップアンドコミュニケーション(Brush up & Communication)の実施、近畿圏キャンプ協会との協働による指導者養成、研修会を計画しています。また、新規インストラクターならびにディレクター資格者の拡充を目指し、キャンプ活動の普及とともに、広報誌やホームページを始めとした広報の強化をはかっていくものとします。

これらが通年取り組んできました事業方針でありましたが、今後着実な実施をすすめるためにも、新たな事務局機能のありかたを検討し、その組織運営に応じた人材を確保することが急務となっています。委員会運営についても同様に、刷新の計画があり、会員サービスの更なる強化が必要とされています。2017年ならびに2018年度は特にこの2点を整えつつ、会員サービスならびに普及活動を進めていくこととします。

1. キャンプの普及活動の強化をはかります

- ① 広報
 - 協会の公式ウェブサイトの運営
 - キャンピング京都(会報誌)を年2回発行
 - 外部委託も検討し発行
- ② 普及事業
 - 花背山の家主催事業(10月)などへの協力他
- ③ キャンプ愛好者や会員が集えるプログラムの企画実施

2. 協会運営および事業への参画者の拡充と指導者の資質向上、協会の基盤強化

- ① 委員会および普及事業への参画者拡充
- ② キャンプに関する事業の定期的実施(月例会の実施)
- ③ 会員交流、会員懇談会などの企画実施
- ④ 事務局機能の再構築

3. 日本キャンプ協会、地域協会をはじめ関係団体との協力・連携

- ① 日本キャンプ協会事業およびブロック会議へ積極的に参加・参画
 - 近畿ブロックの幹事県としての役割
- ② 「関西野外活動ミーティング2018」への協力(3月)
- ③ 広報活動の連携強化
- ④ 花背山の家で行われている「自然体験活動」に参加・協力(10月)

第5号議案 2017・2018年度役員改選

協会規約第8条理事及び監事は、会員総会において選任し、会長・副会長・専務理事・常任理事は理事の互選によって定める。規約に従い次の方を理事として提案し満場一致で承認されました。敬称略順不同

会長	黒木 保博	副会長	神崎 清一
理事	中村 三之助	理事	安田 公一
理事	遠藤 浩	理事	濱野 一彦
理事	小嶋 薫	理事	中村 彰利(事務局長)

規約に従い次の方を監事として提案し満場一致で承認されました。敬称略順不同

監事	柳沢 傳	監事	藤尾 実
----	------	----	------

第6号報告 2017年度委員委嘱報告

協会規約第17条により理事会は次の会員を委員として委嘱しました。敬称略順不同

森下 克徳	吉田 穂積	岩西 敬一
濱野 一彦	船越 義正	塚原 誠一
竹川 尚美	中村 彰利	

その他 京都YMCAに150万円を寄付する理事会提案があり、満場一致で承認されました。(これに関しては、会長からの詳細な報告を次号に掲載します。)

V. 会 議

理事会:2016年7月3日(日) 11時～
京都YMCA三条本館
総 会:2016年7月3日(日) 13時～
京都YMCA三条本館

VI. 運営委員会

2016年 7月6日、9月7日、10月5日、
11月9日、12月7日、
2017年 2月8日、3月1日 計7回
京都YMCA三条本館 午後7時～9時

VII. 協力事業

1. 「防災キャンプ2016」 9月17日(土)
於:京都府「京田辺市社会福祉センター」
主催:京都府教育委員会
担当:神崎副会長・飯田理事
2. 関西野外活動ミーティング
2017年2月26日 10時～19時
於:大阪ドーンセンター
(府立男女共同参画青少年センター)
主催:関西野外活動ミーティング実行委員会

VIII. 事務局事業

1. 各委員会委員あて「事務局通信」毎月発行
2. ホームページの更新
3. キャンピングKYOTO発行 2016年7月

X. 団体登録

1. 公益社団法人日本キャンプ協会
2. 京都青少年 ゆめネットワーク「ゆめっと京都」
3. 京都府青少年育成協会
4. 人づくり21世紀委員会
5. 京都市教育委員会「花背山の家」運営委員会委員
6. (公財)京都市生涯学習振興財団

XI. 日本キャンプ協会

1. 第1回 総会および支部研修会
6月4日・5日 飯田理事
2. 第2回 総会および支部研修会
3月11日・12日 岡本副会長・飯田理事

第2号議案・2016年度決算

第4号議案・2017年度予算

京都府キャンプ協会2016年度収支決算書(自2016年4月1日至2017年3月31日)及び2017年度予算案は満場一致で承認されました。

収入の部

科目	16決算	17予算	摘要
1 会費	489,000	450,000	登録費を含む
2 寄付金	50,000	50,000	YMCAより
3 事業収入	688,200	460,000	講習会・月例会・他
4 雑収入	26	100	預金利息
5 補助金	0	0	
当期収入合計	1,227,226	960,100	
繰越金	2,994,610	3,047,043	
合計	4,221,836	4,007,143	

支出の部

科目	16決算	17予算	摘要
1 会議費	143,573	200,000	総会・日本協会総会・近畿7県他
2 旅費交通費	96,600	200,000	日本協会関連会議・近畿7県関連他
3 事業費	663,744	758,200	講習会・月例会・BUC他
4 事務費	111,892	600,000	郵送費・消耗品他
5 雑費	38,984	700,000	団体登録費他
6 会員交流費	120,000	1,000,000	
当期支出合計	1,174,793	3,458,200	
予備費	0	3,548,943	
収支差額	3,047,043	0	
合計	4,221,836	4,007,143	

監査報告

2016年度事業及び会計について、監査の結果適正かつ正確なることを証明致します。

2017年7月1日 監事 柳沢 傳 監事 藤尾 実

第3号議案 2017年度事業計画

京都府キャンプ協会2017年度事業計画は満場一致で承認されました。

京都府キャンプ協会は設立以来、京都府下及び市内におけるキャンプの発展と指導者の養成と結集を願って、会員の方々によって運営されてきましたが、2011年度の日本キャンプ協会が公益社団法人移行に伴い、本協会も規約・会則と合わせて名称を「京都府キャンプ協会」変更し、新たな歩みを始めました。

また、日本キャンプ協会においては1966年に設立され、昨年は50周年という記念の年を迎え、この期間に培われ、受け継がれたものを再認識すると共に、将来につながる新しい価値を示すための事業を進めたいと考えています。

今日の社会においては、昨年4月に発生しました「熊本県大震災」さらに、2011年3月に起きました東日本大震災により、人間の生き方や価値観、安全に対する考え方、共に生きることの喜びや重要性について考えることが必要とされています。そして、一人ひとりのいのちの重さや尊厳の課題について真摯に向かい合うことが求められています。また自然環境とエネルギーの問題についても、同様に新しい解決策が求められています。

このような諸課題に対しての早急な取り組みと共に、次代を担う子どもたちや青少年が自ら考え、新しい価値観を創り出す手段として、体験学習として代表的なものである「キャンプ」「自然体験活動」への期待がますます大きくなっていますが、その期待に応えるべく、キャンプのもつ教育的価値、期待される指導者ならびに指導法について見直しもしくなくてはなりません。

例えば、私たちキャンプ指導者は何が出来るのか、何を指導しないといけないのかということ等を常に考えておくことが求められ、更には学校現場との連携や協力、日ごろ私たちが計画・実施しているキャンプのあり方、指導者の養成、キャンプの様々な報告や発信についても同様です。私たちが「大好きな」キャンプをあらためて見つめなおし、大切に育て、社会に発信することが、今こそ必要なのではないでしょうか。

本協会は今年度におきましても、指導者養成事業としてキャンプ・インストラクター養成講習会の実施、野外技術ならびに指導技術のスキルアップをはじめとした月例会の充実、そして一般市民を対象としたプログラム・クラフト指導と紹介などを行い、キャンプ協会の目的である指導者の養成とキャンプの普及活動に取り組みます。

Brush up & Communication

次のキャンプで必ず役立つキャンプソング塾 Part6

昨年度のキャンプソング塾パート5に引き続き、キャンプの様々なシーンで仲間やキャンパーとつい口ずさみたくなるキャンプソングの魅力に迫ります。

キャンプソングには、仲間とのつながりを感じられる歌、明るく元気になれる歌、最高に盛り上がる歌、勇気づけられる歌、心一つになれる歌、感動にむせぶ歌、その時々のあるままの感情を表現させてくれるものがあります。

初めての出会い、土砂降りの雨の中で、燃え盛る炎を見つめて、きらめく星空を見上げて、朝日を浴びて、別れを惜しんで・・・キャンプソングは、その場面とともにキャンパーの記憶に強く心に刻み込まれます。

そんなキャンプソングを歌う喜びを共有し、素敵な時間を過ごしませんか。

主な予定曲

「夏は」
「青空バラード」
「このキャンプで」
「春の風が吹いていたら」
「ねむの木」
「ずんごろ節」
「めぐり逢い別れ」
「思い出のキャンプサイト」
「キャンプで逢いましょう」他

- 日程** 2017年12月3日(日) 10:00~13:00
場所 京都YMCA三条本館(京都市中京区三条通柳馬場角)
参加費 1,000円
定員 30名
持ち物 特にありません*お昼に軽食を用意します。
主催 京都府キャンプ協会
共催 公益社団法人日本キャンプ協会
申込み 京都府キャンプ協会事務局までお申込みください。
申込〆切 2017年11月27日(月)



京都府キャンプ協会後援

1920年、六甲山麓において大阪YMCAが少年たちのために試みた、松林の中での2週間の簡易天幕生活キャンプ、これが日本で最初の教育的組織キャンプと言われています。

2020年、日本の組織キャンプ100年に向けて今後様々な催しが計画されます。今回は、大阪YMCAが開催するシンポジウム・ワークショップを紹介します。

キャンプ100周年記念シンポジウム2017

テーマ "Active learning, active living"

これからのキャンプが持つべき教育的価値、ならびにその期待値について多方面・多角的な立場からの意見を共有し、新しいキャンププログラムの可能性や必要性を考えます。

その中でも特に教育カリキュラムの実践フィールドとしてのキャンプやアクティブラーニングによる学びの機会としてのキャンプのあり方を模索しながら学校教育の現場と連携するキャンプの有効性を実感していただけることを狙いとしています。

- 日程** 2017年11月23日(木・祝)
午前12時30分 開場
午後1時~2時 第1部キーノートスピーチ
午後2時~3時 第2部パネルディスカッション

場所 大阪YMCA会館(土佐堀) 2階ホール
(大阪市西区土佐堀1-5-6)

キーノートスピーカー 嘉田 由紀子氏(元びわこ成蹊スポーツ大学学長)

ファシリテーター 加藤 映子氏(大阪女学院大学・大阪女学院短期大学学長)

パネリスト 鈴木 真由子氏
(大阪教育大学教授、大阪教育大学附属平野中学校校長)

パネリスト 西庄 功一氏
(バイエル薬品(株)開発本部プロジェクトマネジメント部長)

ワークショップ「新しいキャンプへの挑戦」

これからのグローバル社会を豊かに生きることが出来る人間の育成を考え、教育機関や企業、国際社会が求める青少年教育・人材育成カリキュラムにおけるキャンププログラムの可能性について、また、既存の組織キャンプに社会課題への取り組みや社会教育的視点からの学びなどの要素を掛け合わせた「新しいキャンプ」の持つ可能性を探ります。

- 日程** 2017年11月25日(土) 午前10時~午後4時
参加費 4,000円(昼食付き)
場所 グローバルラーニングセンター六甲山YMCA
(兵庫県神戸市灘区六甲山町北六甲875)

「誰もが参加できるユニバーサルデザインのキャンプ場」
「ハイ・エレメントを活用したチームビルディング」
「CASコーディネータのための現場としてのキャンプ場」
「グローバル教育を実践するキャンプ活動」
「リーグクラブから見るキャンプの魅力や有効性について」
「楽しく安全な海洋スポーツ・キャンプのための海洋教育」
「医療の現場が主催する様々なキャンプ活動」
「学校教育の現場から見るキャンプの有効性」 「キャンプ活動と災害支援」
「サマーキャンプの効果」 「YMCAキャンプが持つ魅力と課題点」

- 申込み** 記念シンポジウム2017 大阪YMCA会館 06-6441-0894
ワークショップ 六甲山YMCA 078-891-0054



京都府キャンプ協会事務局の連絡先
電話番号 & FAX番号が変わりました。

電話番号 075-255-4709
FAX番号 075-255-2087

※住所に変更はありません。

お問い合わせ・お申込みは 京都府キャンプ協会

〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 京都YMCA三条本館内

TEL: 075-255-4709 FAX: 075-255-2087 E-mail: kyoto@camping.or.jp URL http://kyoto.camping.or.jp